

学校法人 城西大学 国際学術文化振興センター

# JOSAI INTERNATIONAL CENTER for the Promotion of Art and Science (JICPAS)

学校法人 城西大学

〒 102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-26

☎ 03-6238-1300

http://www.josai.jp/

## Newsletter

Josai University Educational Corporation

3-26 Kioi-cho, Chiyoda-ku, Tokyo ☎ 03-6238-1300 http://www.josai.jp/

No.8



【参加パネリスト】 Rose Tseng Chancellor of University of Hawai'i at Hilo, MIZUTA Noriko (水田 宗子) 学校法人城西大学 (日本) 理事長・城西国際大学学長, Chen Naifang (陳 乃芳) 北京外国語大学 (中国) 前学長, Chen Weijia (陳 維嘉) 伝媒大学校務委員会主席, Josefina Castillo Baltodano President of Marian University, Mary Jossy Nakandha Okwakol Vice Chancellor of Busitema University, Sandra Harding Vice-Chancellor and President of James Cook University, Virginia Hinshaw Chancellor of the University of Hawai'i at Manoa, (Moderator) Luoluo Hong Vice-Chancellor of Student Affairs, University of Hawai'i at Hilo

2008年9月22日、世界女性学長会議準備会議が、ハワイ大学ヒロ校で開催され、水田宗子理事長が、中国を除くアジア代表として参加しました。  
会議はハワイ大学ヒロ校内ラナイ劇場にお

講演会  
シンポジウム

### 「A Global Dialogue Women in Higher Education」開催

日時：2008年9月22日  
場所：アメリカ・ハワイ大学ヒロ校ラナイ劇場

## 講演会・シンポジウム

講演会  
シンポジウム

### ハワイ州知事主催 国際女性リーダーシップ会議に出席

日時：2008年9月24日  
場所：ハワイ・ワイキキ

いて、地域の方、学生、地方自治体の方々など約2000人の参加者を得て、「A Global Dialogue Women in Higher Education」と題して行われました。ハワイ大学ヒロ校の

ローズ・セン学長宅の家具を劇場の舞台にセットし、非常にリラックスした雰囲気の中で、高等教育をうけた女性が社会的に活躍していくためにどのような問題があり、現在トップにたっているパネリストは、どのように乗り越えてきたのか、またどのようにしたらよいと思うのかについて、対話方式で話し合われました。  
和やかな雰囲気の中、世界の各地からきた学長たちによるコメントが印象的で親しみやすかったためか、終了後多くの学生たちから質問がなされました。  
この会議の様子は、9月23日の Hawaii Tribune Herald 紙に掲載されました。

2008年9月24日(水) ハワイのワイキキにて開催された第五回国際女性リーダーシップ会議 (Fifth Annual International Women's Leadership Conference) に出席、水田宗子理事長が International Higher Education Leaders のパネリストの一人として招かれました。

若い世代の女性や働く女性に対し、リーダーシップを発揮する立場にたつ女性にとつて何が一番大切だと思いますかの問いに、水田理事長は、個人的にあるいは会社で、自分を支えてくれるよい仲間、そしてよき師、よき指導者を見つかることだというアドバイスをするなど、いくつもの客観的で適切なコメントを述べました。



の主催で、世界各国でリーダーシップを発揮している女性たちの中から特別な女性がセレクションで選ばれ、開催されるものです。約1100人の参加者を集め、一日を通して、リーダーシップを学びます。参加者には、働く女性はもちろん、高校生、地域の方、寄付した企業、女性団体、警察や消防を含む地方自

治体メンバーもいました。

この会議の様子は、多数の新聞・テレビの

取材をうけ、アメリカをはじめとする世界各国に配信されました。

## 日本医療政策機構と第2回メディアワークショップを開催

日時…2008年10月10日

場所…学校法人城西大学紀尾井町キャンパス

講演会  
シンポジウム

学校法人城西大学は、問題山積みとなっている現代の日本の医療について、NPO法人日本医療政策機構と手を携えて、解決に向けた政策提言ができるよう、日本医療政策機構を支援することといたしました。

今回は、その一環として、がん対策の地域間における違いについてジャーナリストのみなさんに理解してもらうための第2回メディアワークショップを紀尾井町キャンパスで開催しました。

報センタープロジェクト」を推進中。都道府県別のがん対策格差を浮き彫りにし、各地にあるがん対策の好事例を共有し、対がん戦略に取り組む人々の全国ネットワークを形成することで、日本の対がん戦略を大きく前進させようとしています。

今回はその最新の取り組みや全国各地の事例を、報道の最前線で活躍しているジャーナリストの皆さんに紹介し、その差が解消されるためにはどのような手順と方法が必要なのかを考える会となりました。

最後の質疑応答では、城西大学の副学長兼薬学部長である白幡晶先生が、地域や病院ごとのがん戦略への取り組みを正しく把握し、改善するためには、その指標がきわめて大事であることを指摘、今後は城西大学も指標選択の相談にも乗っていくことになりました。



埴岡 健一日本医療政策機構 がん政策情報センター長による講演

## 日韓女性会議開催

日時…2008年10月24日

場所…城西国際大学東金キャンパス

講演会  
シンポジウム

2008年10月24日、城西国際大学 東金キャンパス プレゼンテーションホールにおいて、日韓女性会議が、城西国際大学水田宗

子学長の「歓迎あいさつ」メッセージの披露により開会しました。

「高齢社会と女性」女性の学び直し」を



全体テーマとし、基調講演、シンポジウムを行いました。このテーマは、少子高齢化の急速な進展により、社会基盤の大きな変化を余儀なくされている日本と韓国の双方の社会において、女性、とくに中高年女性が、社会に貢献する人材として生きるために、同時に自己実現の達成のために、どのように新しい知識・技術を習得していくことができるか、検討することを目的としたものです。

開会式に引き続き、日本側基調講演をNPO法人「高齢社会をよくする女性の会」理事長 樋口恵子氏、韓国側基調講演を韓国西江大学校日本学主任教授 申惠環氏より行っていました。

シンポジウムでは、韓国慶北大学校教授 朴南姫氏、大阪市立大学研究員 梁英姫氏、韓国東国大学校助教授 呉美英氏、お茶の水女子大学教授 館かおる氏、城西大学教授 川辺純子氏、城西国際大学 和智綾子教授の6人の先生方より報告を行っていただきました。その内容は、韓国の中高年女性への文化教育活動、韓国の非正規職関連法と女性労働の関係、韓国の高齢者支援の法・制度、「老い」の知と男女共同参画センターのあり方、城西大学の女性人材育成の取り組み、城西国際大学の福祉人材育成の3ヶ国比較研究の報告と多岐にわたるものでありました。

当日は、城西国際大学の第3回女性リーダー育成奨励生の表彰式も、併せて開催されました。会議の開催にあたり、城西国際大学、城西大学の女性リーダー育成奨励生の学生たちが、事前準備、当日のスタッフとして活躍しました。

## 現代政策研究センター設立記念講座開催

日時…2008年10月18日、11月1日、11月29日

場所…学校法人城西大学紀尾井町キャンパス

講演会  
シンポジウム



日本政策投資銀行公共ソリューション部竹ケ原啓介課長

学校法人城西大学現代政策研究センター開設記念講座「急拡大する21世紀の世界経済における課題」(全3回)が開催されました。

「新興国需要の急増か 巨額投機マネーの流入か」、第2回目(2008年11月1日)は、「資源価格の高騰と日本産業」、そして最終

回(2008年11月29日)は、「環境問題と資源インフレ」というテーマでそれぞれ開催されました。最終回には城西国際大学へも遠隔中継がなされ、ホール来場者と合わせ、約2000名が受講しました。

全3回の講演を通じて、受講生は、世界各国で起きた金融





## 国際交流活動

マーケットにおける節目の出来事について理解し、資源・食料価格の高騰は、単なる価格高騰の問題として捉えるのではなく、投機マネーの流入による急激な価格変動への対応こ

そが解決の急がれる課題であると認識することができました。これが今回の現代政策研究センター設立記念講座の最大の成果と言えるでしょう。

### アメリカ・ハワイ大学ヒロ校と学術交流協定締結

日時…2008年9月22日  
場所…ハワイ大学ヒロ校



学校法人城西大学水田宗子理事長は、2008年9月22日(月)にハワイ大学ヒロ校を訪れ、ローズ・セン学長とともに学術交流協定書にサインをしました。今回ハワイ大学との協定を結ぶにいたったのは、2008

年6月4日に城西国際大学で開催された世界女性学長会議日本会議に参加されたハワイ大学ヒロ校のローズ・セン学長と交流が深まったことによるものです。

#### ※ハワイ大学ヒロ校

ヒロ校は4学部33学科から成り、海洋学や天文学、商業など特色ある教育が有名です。ハワイだけでなくアジアや太平洋地域からの学生も多く、約3600名の学生が学んでいます。広い学内には学生寮をはじめ、劇場、サッカー場、野球場など充実した施設があります。



セン学長(右)と協定書を交わす水田理事長(左)

### 米マリアン大学と学術交流協定を締結

日時…2008年9月25日  
場所…ハワイ・ホノルル



学校法人城西大学は、2008年9月25日アメリカ・ウイスコンシン州のマリアン大学

と学術交流協定を締結しました。このたび、ハワイ大学ヒロ校で開催され

た“A Global Dialogue — Women in Higher Education —”のパネルの一人であったマ



バルトダーノ学長(左)と握手を交わす水田理事長(右)

リアン大学の学長バルトダーノ(Josefina Castillo Baltodano, J.D.)氏と水田理事長は、ホノルルにおいて学術交流協定書にサインをし、今後の両校の友好

関係の発展を約束しました。

#### ※マリアン大学

(Marian University, Wisconsin) について  
マリアン大学は、1936年に設立したマリアンカレッジを前身とし、1970年に男女共学になり、現在の入学者の約3割は男性です。人文学部、経営学部、自然科学学部、看護学部、教育学部を有しています。課外活動も活発で女子バレーボールは歴史が古く、またバスケットボール、野球、クロスカントリ、ホッケー、サッカーなども盛んです。

### ウガンダ・ブスティマ大学と学術交流協定を締結

日時…2008年9月25日  
場所…ハワイ・ホノルル



オクワコル副学長(左)と協定書を交わす水田理事長(右)

2008年9月25日、学校法人城西大学はウガンダのブスティマ大学と学術交流協定を締結しました。

このたび、ハワイ大学ヒロ校で開催された“A Global Dialogue — Women in Higher Education —”において

一緒にあったブスティマ大学のオクワコル(Mary Jossy Nakandha Okwakol Ph.D.)副学長と水田理事長はホノルルにおいて、学術交流協定書にサインをし、今後の両校の友好関係の発展を約束しました。

#### ※ブスティマ大学

(Bustema University, Uganda) について  
ブスティマ大学はウガンダで5番目の公立大学です。農学部とアグリビジネスに力を入れた教育を行っています。



学術交流協定締結後の記念撮影

## 北京外国語大学と学術交流協定締結

日時..2008年9月25日  
場所..ハワイ・ホノルル

国際交流活動

学校法人城西大学は、2008年9月25日北京の北京外国語大学と学術交流協定を締結しました。



北京外国語大学前学長チェン氏（左）と協定書を交わす水田理事長（右）

6月に城西国際大学にて開催の世界女性学長会議日本会議にも参加された北京外国語大学前学長であるチェン・ナイ

ファン（Chen Naifang）氏とハワイ大学で再会した水田理事長は、チェン先生とより交流を深め、ホノルルにおいて学術交流協定書にサインをし、今後具体的な交流の推進を約束しました。

※北京外国語大学（Beijing Foreign Studies University, China）について

北京外国語大学は、1941年に創設された延安ロシア語学校を前身とし、中国国内において大変歴史の長い大学です。語学を中心に14の学部があり、7000名を超える学生が学んでいます。

## 中国伝媒大学南広学院来学

日時..2009年1月16日  
場所..紀尾井町キャンパス

国際交流活動

城西国際大学千葉東金キャンパスを訪ねた翌日、2009年1月16日（金）、中国・中国伝媒大学南広学院国際コミュニケーション学部の劉林利学部長が、東京紀尾井町キャンパスに、水田宗子理事長を表敬訪問しました。

江蘇省南京市にキャンパスを構える中国伝媒大学南広学院は、本学名誉博士の劉繼南先生が院長を務めており、学生約1万名が在籍しています。

今回の訪問において、今後の両大学間にお



南広学院劉学部長（左）と水田副学長（右）

ける学術交流活動や共同教育プログラムについて、いくつかの具体的な提案がなされ、早速着手することが約束されました。

## 大連理工大学管理学院と学校法人城西大学との間で 共同教育に関する協約を締結

日時..2009年2月16日  
場所..紀尾井町キャンパス

国際交流活動

大連理工大学管理学院の蘇敬勤学部長ならびに李新然副院長、張旭院長助理、吳瀾文国際合作与国際項目弁公室主任が、2009年2月16日東京紀尾井町キャンパスにおいて、水田宗子理事長を表敬訪問し、大連理工大学管理学院と学校法人城西大学との間で共同教育に関する協約が締結されました。本協定は、経営学分野の学問を修め、人間形成を目的とするものとし、MBAの学位を取得するものです。本協定によって、両校間における交流がますます深まります。

今回、発足するプログラムは「JMBAプログラム」であり、このプログラムに参加する院生は、「1年+1年」で両校の修士号、すなわち「デュアルディグリー」を同時に取得することが出来ます。将来、日中間を中心に活躍するグローバルなビジネス人材を目指している



蘇敬勤学部長（右）と協定書を交わす水田理事長（左）

今回の訪問において、今後の両大学間における学術交流活動や共同教育プログラムについて、いくつかの具体的な提案がなされ、早速着手することが約束されました。



多くの方々のチャレンジを期待しています。

## 中山大学嶺南学院と学校法人城西大学物流・サプライチェーン研究センター開設式典開催

日時..2009年3月26日  
場所..広東省中山大学キャンパス中山大学嶺南堂

国際交流活動

2009年3月26日、広東省中山大学キャンパス中山大学嶺南堂において「中山大学嶺南学院と学校法人城西大学物流・サプライチェーン研究センター開設式典開催」

ンパス中山大学嶺南堂において「中山大学嶺南学院と学校法人城西大学物流・サプライチェーン研究センター開設式典開催」



南学院（大学）と学校法人城西大学物流・サプライチェーン研究センター」の開設式典が開催されました。

この研究センターは、中山大学嶺南学院の物流研究科と城西大学の物流研究グループが、物流・サプライチェーンに関する共同研究を推進する拠点となることを目的としています。また、このセンターはすでに学校法人城西大学現代政策研究センター内に設立済みである城西大学・中山大学嶺南学院物流研究センターと連動して中山大学嶺南学院において開設されたものでもあります。

ここ広東省には特に多くの日系企業が進出していることから、広東省の物流政策の広がりを受けて、日中間におけるシームレスで効率的な物流のあり方を中心に研究していくことになりました。また、それぞれの大学院レベル、企業間での人的交流についても活発に展開することも期待されています。

開設式典後引き続き「中山大学嶺南学院物流・サプライチェーン研究フォーラム」が開催され、9テーマの報告とディスカッションが行われ、有意義な意見交換が行われました。



開設式にて

た。今後、両研究センターでは、毎年日・中・韓物流フォーラムを開催し、東アジアの物流革新に貢献していくとともに、広東省と日本をつなぐサプライチェーンのあるべき方向、研究者間の相互研修等を積極的に推進する予定です。

き1点を掲載しております。

U.S.-Japan Women's Journal は日米間を中心に他地域を加えたグローバルな視点に立つたジェンダー研究の学術交流、情報交換を目的に、女性、男性、家族、労働、社会問題、文化研究等についての論考を掲載する英文誌です。城西大学国際学術文化振興センター (ICPAS) が年に2冊刊行しております。

バックナンバー、購入方法などの詳細については Web サイト (<http://www.josai.jp/jcpas/uswj/index.html>) をご覧ください。



#### 出版活動

### Review of Japanese Culture and Society 第20号が刊行

Review of Japanese Culture and Society は日本人と日本文化をテーマとする英文誌で、年に一度城西大学国際学術文化振興センター (ICPAS) より刊行しています。

今号は「日本における翻訳文化」をテーマに、在外研究者による論考およびこのテーマに関わる日本語論文の英語翻訳文などを掲載しております。



価格：国内 1部 2,000円+送料  
海外 1部 \$20+送料 (\$5)  
問い合わせ先：rev-jou@josai.ac.jp

## 出版活動

#### 出版活動

### U.S.-Japan Women's Journal 第34号・第35号発刊

U.S.-Japan Women's Journal の第34号・35号が発刊されました。

第34号は、2008年12月に刊行され、日本の女性の過去と未来、少子化問題に関するイタリア、スペイン、日本の比較など社会問題、家族などに関する論文が4点と作家柳美

里の生い立ちと小説に焦点をあてた論文1点を掲載しております。

第35号は、2009年2月に刊行され、日本文学を女性学的視点で考察した論文3点、1920年代韓国における翻訳、ジャーナリズム、近代文学に関するもの1点および後書

#### その他活動

### 名誉博士記授与式

日時：2008年9月30日  
場所：城西大学

2008年9月30日（火）城西大学学位記授与式・入学式において、名誉博士記授与式も執り行い、ウェスタン・ミシガン大学の曽我道敏名誉教授に名誉博士記を授与致しました。

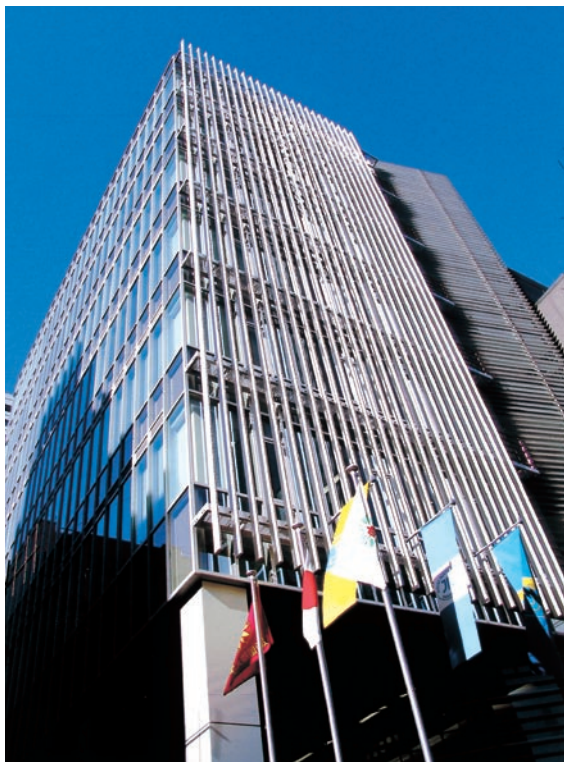
1968年にアメリカに渡られた曽我教授は、ウェスタン・ミシガン大学ならびにカラマズー市において、日本の大学との学術交流の架け橋として大変ご尽力された方で、日米間における相互理解促進のため、数多くの日

## ●周辺図



## アクセス インフォメーション

- 地下鉄有楽町線 麹町駅 1番出口より徒歩3分
- 地下鉄南北線 永田町駅 9番出口より徒歩5分
- 地下鉄丸の内線・銀座線 赤坂見附駅 弁慶口より徒歩8分
- JR中央線・総武線 四谷駅より徒歩10分



て、40年以上の長きにわたり、献身的な活動を続けてこられました。

加えて、本学とウェスタンミシガン大学との学術交流協定締結の際には多大なるご協力を賜り、その後の交流にあたりましてもいつもあたたかなご支援をいただきました。

これらの曾我教授の業績が高く評価され、このたびの名誉博士記授与となり、曾我教授は、城西大学からの名誉博士授与を人生において、心に残るうれしい出来事で、大変光栄なことと喜んでおられました。



曾我道敏ウエスタン・ミシガン大学名誉教授

系企業が活動するミシガン州西部地区で個人と産業経済のネットワークの構築や人材育成などの分野において、



名誉博士記授与式

日韓の学術研究の発展と国際交流の増進を目標に2006年に設立された城西国際大学韓国文化研究センターのウェブサイトを(<http://www.jiu.ac.jp/krctr/>)が2008年11月17日開設されました。人文、社会、芸術などの全般におよぶ領域を学術的に研究し、その成果を学内外の教育プログラムに活かす、日韓の学術協力と学生交流促進するための情報発信を行っていく予定です。

## ●その他活動

## 韓国文化研究センター

## ウェブサイトを開設

日時：2008年11月17日

## 学校法人 城西大学



城西大学／城西短期大学



城西国際大学

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-26 TEL.03 (6238) 1300

学校法人 城西大学 <http://www.josai.jp/>城西大学 <http://www.josai.ac.jp/> 城西国際大学 <http://www.jiu.ac.jp/>

## 学校法人 城西大学 国際学術文化振興センター

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-26

TEL 03 (6238) 1300 FAX 03 (6238) 1299